

当院での初期臨床研修医を対象とした 超音波研修の取り組みとその評価

た なべ りょう はら だ あい こ
田 部 諒 原 田 愛 子
さか もと たか ひろ き たに みつ ひろ
坂 本 考 弘 木 谷 光 博

キーワード：超音波検査，救急外来，初期臨床研修医

要 旨

当院では初期臨床研修医（以下，研修医）を対象に週1回の超音波検査技師指導によるエコー研修と月1回の勉強会に取り組んでいる。研修前後の救急外来における研修医のエコー検査実施率や有用性について検討した。研修医の救急外来でのエコー実施症例を2017年5月と11月で比較し，研修医1年目に対し半年間における救急外来でのエコー検査の自己評価と研修体制についてアンケート調査を行った。エコー実施率は5月と11月の間に有意差は認めず約2割であったが，アンケート調査では全員が研修半年後にはエコー検査をできる実感を得ており，エコー所見の記載も増加した。研修体制も非常に良いという回答を得た。当院での研修医へのエコー研修体制は満足度も高く，臨床的にも有用な事が示唆され，引き続きこの研修を維持していく必要があると考えられた。

はじめに

エコー検査は非侵襲的かつ簡便に施行でき，多くの情報が取得できる日常診療に必須の検査ツールである¹⁾。救急外来などで初期診療にあたる初期臨床研修医（以下，研修医）も技術習得が望まれる²⁾。そのため当院ではエコー検査技術の習得のために，研修医が週1回主に人間ドックの患者を対象に超音波検査技師指導の下で検査を施行し，

月1回の勉強会に取り組んでいる（図1）。また，救急外来では研修医が積極的にエコー検査を行う

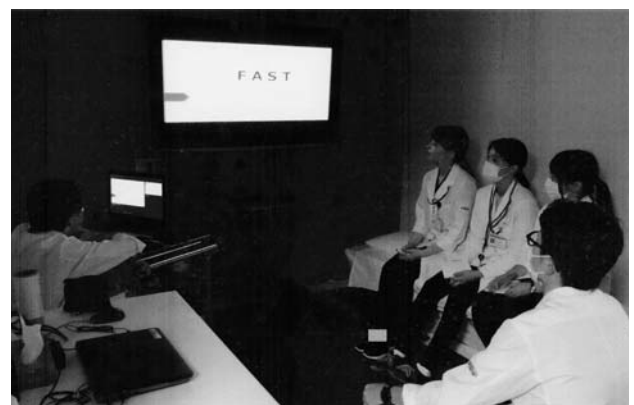


図1 エコー勉強会の様子

Ryo TANABE et al.

益田赤十字病院

連絡先：〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103番地1

益田赤十字病院